

令和7年度事業報告

令和7年度は、令和6年に成立した再資源化事業等高度化法が全面施行され、また廃棄物処分業（中間処理）への外国人の特定技能・育成就労制度の導入が決まり準備も進むなど、われわれ産業廃棄物処理業界の発展をさらに加速する重要な動きがあったことから、これらの周知を図るとともに、本格的な実施に向けた取組みを進めてきました。また廃棄物処理法の見直しに関する国における議論も進み、当協会としても積極的な改善要望を行いました。もちろんこれらの動きは業界全体で進めていくことが望ましいものであり、全産連や関東地域の他都県とともにしっかりと議論をしながら進めてきたところです。

一方、いざというときの災害廃棄物対策についても、県が行う仮置場の円滑な運営のための実地研修や仮置場候補地の評価作業などに積極的に協力し、加えて広域災害が起きた場合における応援体制について、近隣都県協会との話合いも進めています。また、リチウムイオン電池やそれを含む製品に起因する事故への対策について、県とも協議を重ねながら、検討を進めているところです。

さらに、このような中、以下の各部門における事業についても着実に実施しました。

I 自主事業部門

1. 調査研究事業

- ① 人件費、燃料費、電気代等の諸経費上昇を踏まえ、令和6年度に引き続き、建設廃棄物の処理・処分価格実態調査を行いました。
- ② 「ヒヤリ・ハット」事例の収集を継続的に行い、収集事例を協会ホームページに掲載するとともに、ヒヤリ・ハット事例集を会員に示しその活用を促しました。

2. 労働安全衛生推進事業

- ① 令和5年度から令和7年度を上半期とした第3次労働災害防止計画（令和5年度から令和9年度まで）を踏まえ、経営者のリーダーシップのもと労使が一体となった労働安全衛生対策の取組みを呼び掛けるとともに、労働災害防止に向けた研修会を実施しました。また、上半期の結果を踏まえ令和8年度から令和9年度を下半期とした労働災害防止計画を策定しました。なお、会員企業における「安全衛生活動の現状調査」の実施状況は、調査対象399社中、回答数123社で回答率は30.8%でした。
- ② 令和7年度「安全標語」は、応募総数296点から「ちょっと待て！作業をとめる

その勇気 あなたの声で 守ろう安全」が最優秀賞に選ばれ、協会ホームページのトップページに掲載するなど様々な広報活動の場面で活用しました。

なお、12月に募集開始し審査された令和8年度安全標語の最優秀賞は、応募総数322点から「慣れた作業の安心感 ゆるむ心に潜む事故 基本を守ろう無災害」が選ばれています。

3. 研修事業

次のような研修事業を実施しました。

(1) 熱中症対策セミナー2025 (東京海上日動火災保険㈱との包括連携協定に基づく)

開催日 令和7年 6月19日 (木) Webセミナー

参加者 24社 103名

講師 東京海上日動火災保険㈱

コマーシャル損害部 ロスプリ&テクノロジー戦略チーム (LTS)

(2) KYT (危険予知訓練) 研修会

開催日 令和7年10月14日 (火)

場 所 千葉県自治会館

参加者 25名

講師 中央労働災害防止協会 関東安全衛生サービスセンター

専門役 安全・衛生管理士 須田 核太郎 氏

(3) 県外視察研修 (千葉県産業廃棄物処理業協同組合との共催)

日 程 令和7年10月30日 (木) ~11月 1日 (土)

参加者 17名

視察先 角山開発㈱ (北海道江別市)

(4) 許可申請に関する講習会等

(公財)日本産業廃棄物処理振興センターが主催する、オンライン形式の講習会受講後の会場試験と、対面形式で行われる講義及び試験の二つについて運営に協力しました。

①オンライン形式の講習会受講後の会場試験

i) 新規許可申請に関する講習会後試験 7回 477名

ii) 更新許可申請に関する講習会後試験 8回 741名

iii) 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会後試験 4回 420名

②対面形式による講義及び試験

- i) 更新許可申請に関する講習会と試験 1回 135名
- ii) 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会と試験 1回 132名

4. 廃棄物の適正処理及びリサイクル等の普及推進事業

(1) 相談事業

県民から電話等で寄せられる処分先についての問合せや許可や届出手続き等に関する相談に随時適切に対応し、必要に応じて会員処理業者の紹介などを行いました。

(2) 広報啓発事業

- ① 「協会報」(2025 夏号、2026 冬号)を作成し、会員、関係官公庁、各種団体、各都道府県協会、排出事業者等に配布し、協会の活動や関係行政機関からの通知など、さまざまな産業廃棄物処理に関する情報提供を行いました。
- ② 協会ホームページに行政や全産連等からの情報を速やかに示しました。
【URL : <https://www.chiba-sanpai.or.jp>】
- ③ 新聞や刊行物への広告、記事掲載により協会活動の広報を行いました。
- ④ 千葉テレビ放送(株)および(一財)千葉県環境財団主催の第20回夏休みエコ絵画コンクールに協賛しました。
- ⑤ 「エコメッセちば2025」に協賛、出展しました。

開催日 令和7年10月19日(日)

場 所 幕張メッセ国際会議場

内 容 環境学習普及促進特別委員会で作成した木くずリサイクルのDVDを上映し、来場した子どもたちに、資源循環の重要性について理解を深めてもらう機会を提供しました。

(3) 第25回千葉県廃棄物適正処理推進大会への参画

千葉県廃棄物適正処理推進大会実行委員会の構成員として運営に協力しました。

開催日 令和8年1月15日(木)

場 所 千葉県教育会館

参加者 157人

千葉県循環型社会形成推進功労者表彰を受けられた会員は次のとおりです。

『千葉県知事感謝状』

中嶋 保男 氏 (株)TOAシブル)

丸山 好之 氏 (株)市川環境エンジニアリング)

『千葉県環境生活部長感謝状』

石井 一也 氏（ 株式会社市川環境エンジニアリング ）

齋藤 純 氏（ 高俊興業株式会社 ）

鈴木 仁史 氏（ エコシステム千葉株式会社 ）

田渕 浩太 氏（ グリーン・エコ株式会社 ）

真野 一夫 氏（ 共同リサイクル株式会社 ）

（４）産業廃棄物管理票（マニフェスト）の普及推進事業

（公社）全国産業資源循環連合会発行の産業廃棄物管理票（マニフェスト）、建設六団体副産物対策協議会発行の産業廃棄物管理票（建設系廃棄物マニフェスト）を有償頒布しました。

産業廃棄物管理票（マニフェスト）

174,240セット（前年度：239,100セット）

産業廃棄物管理票 建設系廃棄物マニフェスト

232,400セット（前年度：238,870セット）

（５）災害廃棄物処理支援

- ① 千葉県が実施した災害廃棄物の仮置場実地研修に協力し講師派遣等を行ったほか、実際にどのようなスペースが必要かなど市町村の職員に対し規模感を示すために、デモンストレーションとして大型重車両や重機、鉄板等を持ち込み、説明や実演を行いました。また、あわせて令和元年の台風・大雨や令和5年の台風に伴う災害経験から、仮置場の事例集（写真）を作成し、参加者に配りました。
- ② 千葉県から災害廃棄物仮置場候補地点検事業委託業務を受託し、6市町8カ所の仮置場候補地の点検を実施しました。
- ③ 令和5年に関東地域協議会の構成都市県協会間で締結した相互応援協定の円滑な運用に向け、課題整理や情報交換を行いました。

（６）家畜伝染病発生時に殺処分した家畜等の処理支援

高病原性鳥インフルエンザの処理について、県から協定書に基づく協力要請がなされたため、適切かつ迅速な防疫作業支援を行いました。

（７）その他

- ① 千葉県主催「令和7年度リサイクル促進マッチングセミナー（プラスチック、Lib、小型家電等）」の開催に協力しました。

② 建設廃棄物処理委託契約書等を有償頒布しました。(令和7年7月販売終了)

II 受託事業部門

<県内産業廃棄物処理業者育成事業>

1. 産業廃棄物処理業者セミナー業務(千葉県・千葉市・船橋市・柏市からの受託事業)

会場開催日 令和7年10月23日(木) 参加者 195名

場 所 青葉の森公園芸術文化ホール

動画配信期間 令和7年12月1日(月)～令和8年2月2日(月)

※ 配信期間中は24時間視聴可能

視聴回数 Vimeo 98回、YouTube 234回

内 容 ・産廃コンプライアンス入門!

循環経済への移行に向けて、産廃処理業者の皆様を守っていただきたいこと

講師:阿部記念法律事務所 所長 弁護士 阿部 鋼 氏

・廃棄物の適正処理におけるデジタル技術の活用について

講師:千葉県環境生活部 廃棄物指導課 指導企画班

主 事 宮川 恭一 氏

・廃棄物処理に関する最近の動向について

講師:千葉県環境生活部 廃棄物指導課

副課長 西田 寛子 氏

2. 許可申請に係る相談業務(千葉県からの受託事業)

産業廃棄物収集運搬業(積替・保管を除く)の新規・更新・事業範囲変更の許可申請に係る事前相談や優良認定制度に係る相談、新規許可申請に関する説明会を実施しました。

・新規許可申請に係る事前相談	1,633回(申請件数	968件)
・更新許可申請に係る事前相談	2,801回(申請件数	1,935件)
・事業範囲変更許可申請に係る事前相談	271回(申請件数	158件)
・許可申請に伴う変更届に係る相談	1,658回(申請件数	1,138件)
合 計	6,363回(申請件数	4,199件)
・優良産廃処理業者認定制度に係る相談		84件
・新規許可申請に関する説明会	24回開催	出席者 28名

・更新手続きお知らせの通知	2, 560件
・産業廃棄物処分業者に対する実績報告書提出に係る通知の配布	294件
・郵送申請に係る受付業務	2, 840件

3. 新規事業者向け研修動画の作成（千葉県からの受託事業）

主に新たに許可を取得した産業廃棄物処理業者を対象として、基本となる仕組みや制度、責務、実務上想定される違反事例について解説し、処理業を行う上で必要となる基礎的知識を分かりやすく学べる研修動画を作成しました。この動画は、既存事業者における社員研修用教材としても有効に活用できるものになっています。

動画配信日 令和8年3月31日～

4. 災害廃棄物仮置場候補地点検事業業務（千葉県からの受託事業）

市町村が仮置場の候補地として選定した場所について、仮置場としての実効性を点検し、必要に応じた助言を行うことにより市町村の災害廃棄物対応能力の向上を図りました。

令和7年 9月29日（月） 八千代市、船橋市
 10月 3日（金） 鎌ヶ谷市、我孫子市
 10月 8日（水） 長南町、九十九里町

Ⅲ 法人管理等部門

1. 委員会、部会及び支部等の活動

廃棄物処理関係法令などの改正や業界の環境変化に迅速かつ的確に対処し、また会員の意見や要望に応え得るよう、さまざまな課題の解決に向けた協議を行うため種々の会議を開催しました。

（1）委員会

① 総務企画委員会

令和8年度事業計画及び予算について議論し、現状に対応した事業内容の見直しを行いました。

② 広報研修委員会

令和8年度県外視察研修について協議しました。

③ 適正処理推進委員会

優良事業所及び優良従事者の選考、第25回千葉県廃棄物適正処理推進大会における被表彰候補者の選考を行いました。

④ 安全衛生推進委員会

第3次労働災害防止計画を策定・周知するとともに、安全衛生研修事業、ヒヤリ・ハット事例の収集、労働安全に関する表彰及び安全標語の選考等を実施しました。

⑤ 災害廃棄物対策委員会

関東地域協議会の構成員として、「災害廃棄物処理に関する要望」について議論、承認しました。

⑥ 建設廃棄物処理料金調査特別委員会

建設系廃棄物処理料金調査の取りまとめ等を行いました。

(2) 部 会

① 合同部会（収集運搬部会・建設廃棄物部会・賛助会員建設部会）

開催日 令和8年 3月11日（水）

場 所 ロイヤルパインズホテル千葉

参加者 87名

内 容 ○講演

「リチウムイオン電池の適正なりサイクルについて」

～電池の正しい知識や取り扱い方法について理解を深める～

講師（一社）JBRC 専務理事 金澤 佑一 氏

○事例発表

・動画視聴 環境省「なくそう！リチウムイオン電池による火災
～わたしたちにできること～」

・発表

ア.「リチウムイオン電池の適正リサイクルにおける取組と現状」

船橋興産(株) 事業統括部 部長 福山 圭一 氏

イ.「廃電池類、適正処理の取組について」

～火災経験から学ぶ、排出から処理までの対策～

高俊興業(株) 営業本部長補佐 伊藤 昭二 氏

② 中間処理リサイクル部会

開催日 令和7年11月27日（木）

場 所 ロイヤルパインズホテル千葉

参加者 54名
内 容 第1部

○講演

「AIによる発火・発煙の早期検知

— 廃棄物処理施設における火災防止と初期消火の実現」

講師 (株)イーアイアイ マネージャー 森 和秀 氏

○会員企業における事例・取組み紹介

・(株)エコ・マイニング 常務執行役員工場長 相田 辰 氏

・エコシステム千葉(株) 取締役工場長 前田 英人 氏

・高俊興業(株) 取締役専務執行役員 大賀 実 氏

第2部

○グループディスカッション

・自己紹介

・講演を聞いての意見交換

・各社課題共有と千葉県や協会への要望

・グループ発表

ア. リチウムイオン電池の対策について

イ. 千葉県への要望

③ 最終処分部会

開催日 令和7年11月25日(火)

場 所 協会会議室

参加者 16名

内 容 ○行政に対する要望について

○最終処分場に係る意見交換、他

④ 賛助会員建設部会

ア. 施設見学

開催日 令和7年 8月27日(水)

視察先 高俊興業(株) 東京臨海エコ・プラント(東京都大田区)

イ. 合同部会(収集運搬部会・建設廃棄物部会・賛助会員建設部会)

開催日 令和8年 3月11日(水)

場 所 ロイヤルパインズホテル千葉

(3) 支部会議

4回にわたる支部会議のあり方検討会を開催、今後のあり方について議論をしたうえで、今年度については同一日に支部会議を開催し、それぞれの支部における意見交換等を行いました。

- 開催日 令和8年 2月17日 (火)
場 所 ロイヤルパインズホテル千葉
参加者 80名
内 容 ○合同での開会式
・最近の行政懇談会における要望内容と回答についての説明等
○支部ごとの会議
○合同での講演会
「再資源化事業等高度化法について」
講師 環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課
課長補佐 水島 大輝 氏

2. 関係機関、団体との連携、協力

(1) 行政との連携、協力

- ① 主に環境省から提供される行政情報を協会ホームページに掲載するとともに、会員に対しメール等で情報提供を行いました。
- ② 千葉県環境生活部とさまざまな問題点の解決に向けて、綿密に意思疎通を図りました。
- ③ 当協会、千葉アスファルト合材協会及び千葉再生砕石事業協同組合との3者連名で、千葉県県土整備部に対し「再生砕石の需要拡大に関する要望」を提出しました。
- ④ 県及び柏市からの依頼を受け、千葉県環境審議会委員、柏市廃棄物処理清掃審議会委員を受任しました（岩楯副会長、半田専務理事）。
- ⑤ 行政懇談会

千葉県及び3市（千葉市・船橋市・柏市）と行政懇談会を開催し意見交換を行いました。

- 開催日 令和7年12月18日 (木)
場 所 ロイヤルパインズホテル千葉
参加者 38名（協会21名、県11名、3市6名）
内 容 ○要望書提出
○県からの説明
第11次千葉県廃棄物処理計画の策定について
○意見交換

- ア. 再資源化等高度化法の施行に伴う支援について
- イ. 災害廃棄物対策について
- ウ. リチウムイオン電池等に関する問題について
- エ. 「千葉県廃棄物処理施設及び維持管理に関する指導要綱」について
 - ・ 関係地域住民との調整について
 - ・ 最終処分場の立地基準について
 - ・ 最終処分場の埋め立てる廃棄物の一層の厚さについて
 - ・ 積替・保管施設への搬入・搬出基準について
- オ. 廃棄物処理施設の一部交換等に関する手続きの簡素化について
- カ. 再生砕石の利活用について

(2) 他団体との連携、協力

- ① (公社)全国産業資源循環連合会が行う諸事業並びに各種調査研究事業に、協会役員が委員として参加するなど、連合会の事業推進に協力しました。
- ② 関東地域の都県協会と交流を図り、国への要望や全産連の活動など産業廃棄物に関する諸問題について意見交換しました。

・ 第74回関東地域協議会

開催日 令和7年4月15日(火)

場 所 東京大神宮マツヤサロン(東京都千代田区)

内 容 ○千葉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例について

○議事

ア. 令和6年度 事業報告及び収支決算報告

イ. 令和7年度 事業計画案及び収支予算案

ウ. 次回開催地について

エ. その他

○全国産業資源循環連合会の活動報告

○その他

○講演

廃棄物処理に関する最近の政策動向について

講師：環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課

課長 松田 尚之 氏

・第75回関東地域協議会

開催日 令和7年11月19日（水）

場 所 ホテルメトロポリタン高崎（群馬県高崎市）

内 容 ○議事

ア. 再生砕石に関する状況について

イ. リチウムイオン電池等に関する状況について

ウ. その他

○全国産業資源循環連合会の活動報告

○その他

○講演

循環経済の実現に向けた環境政策の最前線

講師：環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課

課長 相澤 寛史 氏

- ・建設廃棄物対策委員会に参加し、処理料金調査を実施しました。
- ・事務責任者会議（11月、3月）、事務担当者会議（1月）に参加しました。
- ・一都三県建設混合廃棄物意見交換会（2月）に参加しました。

③（一財）千葉県環境財団のちば環境再生推進委員会会議に委員として杉田会長が出席しました。

3. 新規会員の加入促進、会員間の連携強化

機会を捉えて、協会未加入の産業廃棄物処理業者や排出事業者に対して事業内容等を説明するなどし、産業廃棄物の適正処理について協力を求めるとともに、協会の事業紹介リーフレットを配布し、正会員及び賛助会員の加入促進を図りました。

4. 顕彰・表彰事業

① 会長表彰として、功労者1名、優良事業所2事業所及び優良従事者42名を第13回定時総会において表彰しました。

【功 労 者】 御地合美根子 氏（（一社）千葉県産業資源循環協会）

【優 良 事 業 所】 みどり産業(株)（市原市）

(株)ナコード（袖ヶ浦市）

【優 良 従 事 者】 ○産業廃棄物処理業務10年以上従事

白倉啓二郎 氏（有飯田産業）

田野井成之 氏（(株)市川環境エンジニアリング）

古田 勝 氏 (大谷清運(株))
高橋 洋行 氏 (千代田鋳碎(株))
鶴岡 雄 氏 (株市原ニューエナジー)
三木 佑一 氏 (株市原ニューエナジー)
安藤 仁 氏 (J&T環境(株))
眞鍋 和仁 氏 (有飯田産業)
花田 勝也 氏 (エコシステム千葉(株))
神谷いずみ 氏 (株アンカーネットワークサービス)
林 呂典 氏 (高俊興業(株))
原 和明 氏 (エコシステム千葉(株))
小川 博子 氏 (株TOAシブル)
小石 晃洋 氏 (大平興産(株))
畑中 友洋 氏 (大平興産(株))
青木 仁 氏 (高俊興業(株))
網代 勉 氏 (有妻本商店)
藤嶋 寛文 氏 (有妻本商店)
富川 克幸 氏 (株日美産業)
山田 治 氏 (株ナコード)
安永 昌弘 氏 (株TOAシブル)

○産業廃棄物処理業務20年以上従事

立野美喜子 氏 (エコシステム千葉(株))
三浦 則子 氏 (千葉ゼネラルサービス(株))
古谷 進 氏 (株市川環境エンジニアリング)
田中 一也 氏 (エコシステム千葉(株))
貫井 明 氏 (高俊興業(株))
諏訪 晋巨 氏 (有飯田産業)
前田 泰利 氏 (高俊興業(株))
石橋 功仲 氏 (千葉興産(株))
大西 達人 氏 (株ナコード)
永田 寛明 氏 (株京葉興業)
大倉 智久 氏 (株TOAシブル)
野村 信江 氏 (株日美産業)
川上 秀治 氏 (共同リサイクル(株))

篠原 香織 氏 (共同リサイクル株)

○産業廃棄物処理業務30年以上従事

中嶋 保男 氏 (株TOAシブル)

丸山 好之 氏 (株市川環境エンジニアリング)

岡田 博文 氏 (株TOAシブル)

加藤 誠一 氏 (高俊興業株)

捧 寿樹 氏 (高俊興業株)

松本 潤 氏 ((一財)千葉県まちづくり公社)

大野 健一 氏 (エコシステム千葉株)

② 会長表彰として、労働安全優秀賞5事業所、労働安全特別賞4事業所、労働安全功労者賞5名及び安全標語最優秀賞1名を第13回定時総会において表彰しました。

【労働安全優秀賞】 (株)石井興業 木材チップリサイクルセンター (山武郡芝山町)

(株)石井興業 コンクリートリサイクルセンター (山武郡芝山町)

(有)柏廃材処理センター (柏市)

(株)カンナ (市原市)

千代田鋳砕株 (柏市)

【労働安全特別賞】 (株)市原ニューエナジー (市原市)

J&T環境株 千葉事業本部 (千葉市)

(株)TOAシブル (八千代市)

(有)妻本商店 (鴨川市)

【労働安全功労者賞】 阿部 貴子 氏 (株)カンナ)

小野寺 茂 氏 (千代田鋳砕株)

高田 正雄 氏 (株)TOAシブル)

藤嶋 寛文 氏 (有)妻本商店)

渡邊 慎吾 氏 (株)石井興業)

【安全標語最優秀賞】 川口 花果 氏 (株)佐倉環境センター)

③ (公社)全国産業資源循環連合会会長から功労者1名、地方優良事業所1事業所及び優良従事者6名が表彰されました。

【功 労 者】 新井 隆太 氏 (新井総合施設株)

【地方優良事業所】 木材開発株 市川工場 (市川市)

【優良従事者】 大塚 泰弘 氏 (株)富澤商店)

渡邊 初子 氏 (日東消毒株)

関 肇 氏 (有)ユウエイ社)

古澤 孝之 氏 (株TOAシブル)

野村 崇 氏 (有妻本商店)

小檜 久司 氏 (株市川環境エンジニアリング)

- ④ 環境大臣から、循環型社会形成推進功労者 (産業廃棄物関係事業功労者) 2名が、「第1回資源循環と環境を考える全国大会」において表彰されました。

伊藤 公子 氏 (共同リサイクル株、株桂エコシステム)

高橋 政行 氏 (船橋興産株)

- ⑤ 小出 英昭 氏 (株佐倉環境センター) が秋の叙勲で旭日単光章を受章されました。

5. 定時総会、常任理事会及び理事会等の開催

(1) 第13回定時総会

開催日 令和7年5月27日 (火)

場 所 ロイヤルパインズホテル千葉

出席者 279社 (うち委任状151社、議決権行使書59社)

議 事 < 議案 > 第1号議案 令和6年度事業報告について
第2号議案 令和6年度決算について
第3号議案 役員の補充について
(すべて原案のとおり承認)

< 報告 > 第1号 公益目的支出計画実施報告について
第2号 令和7年度事業計画について
第3号 令和7年度予算について

(2) 常任理事会、理事会

事業の円滑な執行等を図るため、常任理事会、理事会を開催し、協会の運営並びに当面の諸問題等に関して協議しました。

6. その他の事業

(1) 講演会

開催日 令和7年6月23日 (月)

場 所 ロイヤルパインズホテル千葉

参加者 103名

演 題 ○ 「廃棄物処理に関する最近の政策動向について」

講師：環境省 環境再生・資源循環局

廃棄物規制課長 松田 尚之 氏

○「環境＝経済」

講師：環境副大臣 兼 内閣府副大臣 中田 宏 氏

(2) 新年賀詞交歓会（千葉県産業廃棄物処理業協同組合との共催）

開催日 令和8年1月28日（水）

参加者 205名

場 所 ロイヤルパインズホテル千葉

【 会員の変動状況 】

(令和8年3月31日現在)

区 分	期 首	入 会	退 会	期 末	増 減
正 会 員	402	5	5	402	0
賛助会員	41	2	6	37	△4
計	443	7	11	439	△4

(正会員内訳)

収集運搬のみ	209社
中間処理のみ	33社
最終処分のみ	3社
収運・中間	146社
収運・最終	3社
中間・最終	1社
収運・中間・最終	4社
排出事業者その他	3社

【役員名簿】

(令和8年3月31日現在)

役職	氏名	会社名
会長	杉田 昭 義	杉田建材(株)
副会長	大賀 実	高俊興業(株)
副会長	岩 楯 保	(株)市川環境エンジニアリング
副会長	安池 慎一郎	(株)TOAシブル
専務理事	半田 徹也	(一社)千葉県産業資源循環協会
常任理事	新井 隆太	新井総合施設(株)
常任理事	高橋 政行	船橋興産(株)
常任理事	大池 秀和	エコシステム千葉(株)
常任理事	吉田 理和	(株)富澤商店
常任理事	水内 郁夫	(株)京葉興業
理事	保田 優太	保田産業(株)
理事	伊藤 公子	共同リサイクル(株)
理事	坂本 剛	太陽建設(株)
理事	瀬田 英博	(株)エコ・マイニング
理事	小林 敬司	J&T環境(株)
理事	碓 隆司	(株)アンカーネットワークサービス
理事	小出 直紀	(株)佐倉環境センター
理事	石井 典子	(株)石井興業
理事	古舘 将司	(株)タケエイ
理事	吉野 毅	(一社)千葉県商工会議所連合会
理事	竹村 正春	(一社)千葉県環境保全協議会
監事	田中 昌夫	税理士法人 千葉中央会計事務所
監事	山本 佳祐	(株)日美産業

参 考

環境保全対策基金運営委員会

環境保全対策基金は、資源循環や適正処理の推進に関する事業者・県民の意識高揚や産業廃棄物処理業に対する理解を広めてその健全な育成を図ることを目的に設置されています。

この基金の適正かつ効果的な運営を図るために基金運営委員会会議を開催しました。

○第1回環境保全対策基金運営委員会

開催日 令和7年7月22日（火）

場 所 協会会議室

議 事 (1) 令和7年度環境保全対策基金事業の進捗状況について
(2) その他

○第2回環境保全対策基金運営委員会

開催日 令和8年1月15日（木）

場 所 千葉県教育会館

議 事 (1) 令和7年度環境保全対策基金事業の進捗状況について
(2) 令和8年度環境保全対策基金事業計画（案）について
(3) その他

役 職	氏 名	所属・役職
委員長	宮 脇 健太郎	明星大学 理工学部 教授
副委員長	入 江 信 明	(一財)千葉県環境財団 理事長
委 員	岩 田 元 一	(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事
委 員	石 田 涼	千葉県環境生活部 循環型社会推進課長
委 員	在 原 潤	千葉県環境生活部 廃棄物指導課長
委 員	大 賀 実	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長
委 員	岩 楯 保	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長
委 員	安 池 慎一郎	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長

青年部会活動報告

青年部会は、処理業界の次代を担う後継者、または会社幹部として自主的な研鑽を重ねるとともに、会員の親睦を目的として37名をもって構成され、会員の増強、組織の拡大、他団体との交流及び積極的な事業展開を期して、以下のとおりの活動を行いました。

1. 組織の充実強化

青年部会の組織の充実のため、部会員の加入について協会の理事会、支部会議や常時協会活動を通じて新規加入の促進を図りました。(5名加入)

2. 定時総会

第13回定時総会を令和7年4月25日に開催し、令和6年度事業報告及び収支決算報告、令和7年度事業計画及び収支予算について原案のとおり承認されました。

3. 役員会

役員会を7回開催し、定時総会提案議案の審議及び青年部会の事業運営等について協議しました。

4. 研修会等

(1) 災害廃棄物への対応に関する研修会

「令和元年 房総半島台風に学ぶ」

講師：(一社)千葉県産業資源循環協会

副会長／災害廃棄物対策委員会委員長 大賀 実 氏

(2) 「4つのタイプ別交渉術」

講師：南関東日野自動車(株)

営業企画部 お役立ちグループ 山野 慎司 氏

(3) 県内視察

(株)ナコード 袖ヶ浦リサイクルセンター (千葉県袖ヶ浦市)

- ・石膏ボード処理施設
- ・太陽光パネル処理施設

(4) 県外視察

(有)アルファフォルム南港工場 (大阪府)

- ・RPF製造および混合廃棄物処理施設

女性部会活動報告

女性部会は、女性の視点から「環境」「廃棄物業界」「リサイクル」に関する課題を整理し、部会員相互の情報交換を通じて知識の向上および親睦の促進を図ることを目的として、10名で構成されています。活動としては、定期的に部会を開催するほか、青年部会の行事にも積極的に参加しており、今年度は特に、千葉県との意見交換会を行い、要望書を提出しました。また、青年部会と共同で「エコメッセちば2025」に出展し、来場した子どもたちに資源循環の重要性について理解を深めてもらう機会を提供しました。